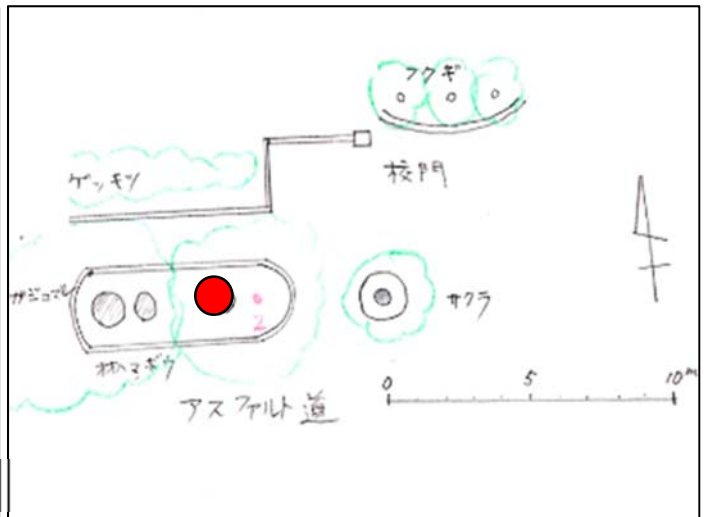


ガジュマル(西)



認定番号 15-2

樹種名	ガジュマル	科名	クワ科	方言名	ガジュマル	学名	<i>Ficus microcarpa</i> L.f.					
形状・寸法	樹高 10.6 m	胸高周囲	2.7 m	根本周囲	2.9 m	樹幹占有面積	74.6 m ²					
	枝下高 3 m	枝張	東 5.2 m	西 4.2 m	南 5.7 m	北 4.4 m	最大樹冠幅 10.1 m					
通称				樹齢	300 年以上							
所在地	北谷町吉原			所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明 備考: 平安座自治会所有							
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他			状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他							
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 名木 7 その他 8 なし			気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ()				(最寄りの7 メースター)	平均気温(°C)	16.8	17.9	18.4	20.9	23.6	26.9
土地傾斜	1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:			2014年	降水量(mm)	36.5	55	51.5	36.5	66.5	117.5	
	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()				平均風速	5.0	5.4	5.6	5.1	4.9	5.1	
基岩・母材	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪窪 9 カスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他			潮風の影響	風向	NNW	N	SW	ESE	S	SSW	
	1 砂壤土: 大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土: 砂と粘土が半々 3 埴壤土: 大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土: ほとんど砂を感じない				地点: 那覇	平均気温(°C)	29.3	28.7	28.8	25.4	22.6	17.6
土性	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			2014年	降水量(mm)	212.0	70.5	36.5	252	30	34.5	
	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()				平均風速	6.3	4.6	4.2	6.7	5.1	5.7	
地形	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			周辺樹木 の影響	風向	SE	SW	SSE	ENE	NNE	N	
	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()				年平均気温	23.1 °C		最高気温 33.9 °C		最低気温 10.6 °C		
土性	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			周辺根元 の状況	年降水量	2584.5 mm						
	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()				潮風の影響	1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)						
根元及び周 囲の植生	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			周辺樹木と の関係	日照条件	1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良						
	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()				周辺樹木 の影響	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))						

管理状況	1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ m、材質() 柵内面積 (m ²) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他										
過去の治療歴 と内容											
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 6 不明										
視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)										
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類 オオイタビ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 (有の場合その数) 4 その他 生徒・父兄等										

地上部の衰退度判定（認定番号15-2）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 0.55

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

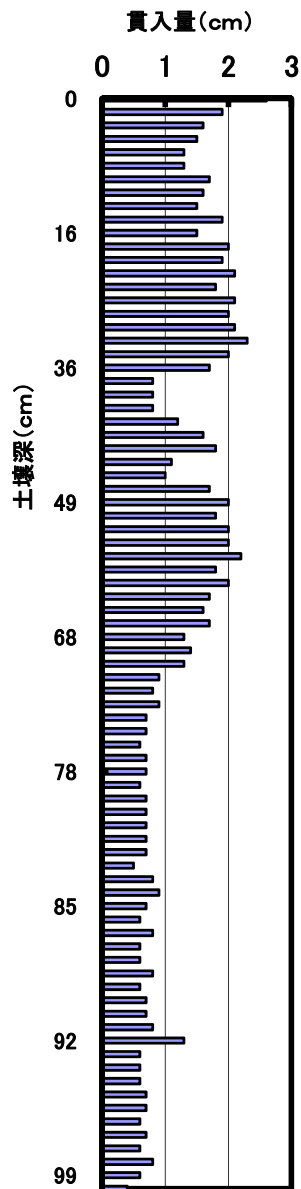
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ	○			
中・小枝落下	○			
幹の傾斜の増大	○			
その他()				

土壤調査結果 (認定番号 15-2)

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
I	5YR4/6	0-9	—	埴壤土	8.1	1.3
II	5YR4/6	9-18	—	埴壤土		
III	5YR4/8	18-33	—	埴壤土		
IV	10YR5/8	33-38	—	砂質埴土		

土壤貫入量結果



部位	所見	対応
土壌	・土壌の流亡が多い。	・客土を検討する。
	・踏圧は見られるが、土壌物理性は良好である。	・無し。
根	・露出根が多いが、根の伸長は良好。	・立入禁止を検討する。
	・イチジクカミキリの食害痕が見られる。	・樹皮下幼虫のフラス、樹皮を丁寧に除き、駆除することが望ましい。
幹	・樹皮の損傷が多い。 ・イチジクカミキリの食害痕が見られる。	・樹皮下幼虫のフラス、樹皮を丁寧に除き、駆除することが望ましい。
枝	・西側 3m 横に生育するオオハマボウを巻き込みつつある。	・オオハマボウも保存の価値があるため、侵入気根を切除することも検討する。
	・中枝基部の損傷が多い。	・イチジクカミキリの被害を受けているので、負荷のかからないよう、不要枝の切除を検討する。
葉	・アオバハゴロモの幼虫が散見される。	・無し。
備考		

